



校長室だより

2025 年 9 月 24

丹波市立進修小学校

校長 松田 亜矢

運動会練習で感じたこと



運動会が近づき、子どもたちの練習も日に日に熱を帯びてきました。

運動会は、単に競技や発表を行う場ではなく、子どもたちが「粘り強く挑戦する力」や「友だちと協力する力」、「新しいことに挑戦する力」を育む大切な機会です。練習を見ていると、子どもたちは自分の苦手なことに挑戦したり、

友だちと助け合ったりしながら、少しずつ自分の力を伸ばしています。自分で計画を立てて取り組む力や、友だちと協力して完成に向かう力も育っており、まさに運動会を通して「自分で考え行動する力」を身につけている様子が見られます。



特に応援合戦では、6年生が自分たちでスローガンを考え、曲や動き、進行の計画まで考え、低学年に教える姿が見られます。低学年の子どもたちも、それに応えようと大きな声で練習に取り組んでいます。こうした経験を通して、子どもたちは自律して行動する力や、仲間と協力しながら調整して進める力を育んでいます。

また、中には運動会にあまり前向きでない子どももありますが、それぞれの子どもに合わせた取り組みを通して、自分らしく挑戦できるように支えています。運動会の練習は、子どもたち一人ひとりの成長の場であり、仲間との絆や思いやりの心も育んでいます。

当日は、保護者の皆様も参加できるふれあい種目をご用意しています。玉入れや綱引きは子どもたちの競技の後にぜひご参加ください。また、借り人競争では保護者の方のご協力をお願いします。

子どもたちと一緒に運動会を楽しんでいただけますと幸いです。



運動会を通して、子どもたちは自分の力を信じ、仲間と助け合いながら挑戦する喜びを感じ、大きく成長することでしょう。保護者の皆様には、当日もあたたかく見守り、応援していただけますようお願いいたします。子どもたちの頑張りに、ぜひご期待ください。